



芹沢鉢介『ばんどり図四曲屏風』(部分) 1957年 166.4×243.4

芹沢鉢介の仕事

ふたつのコレクション展

筆と言葉 杉本健吉と本多静雄の交流



杉本健吉:画 本多静雄:書『明治開化屏風』(部分) 1987年 178.0×366.6cm

2026年2月7日[土]－5月24日[日]

展覧会名

ふたつのコレクション展

芹沢銈介の仕事／筆と言葉 杉本健吉と本多静雄の交流

会 期

2026年2月7日[土]－5月24日[日]

開館時間

午前9時30分－午後5時

休 館 日

月曜日[2月23日、5月4日は開館]

主 催

豊田市民芸館

共 催

中日新聞社

出品協力

公益財団法人 杉本美術館

会 場

第1・第2民芸館

観 覧 料

一般600円／高校生・大学生400円／中学生以下無料

※観覧料の減免、割引等については当館ウェブサイトをご確認ください。

展示概要

芹沢銈介の仕事

芹沢銈介（1895-1984）は、日本を代表する染色家であり、民藝運動の中心的な作家のひとりです。柳宗悦の論文「工藝の道」に感銘を受け民藝運動に参加し、柳の著作の装幀を数多く手がけました。芹沢は「下絵」・「型彫り」・「染め」の工程をすべて一人で行う「型絵染」を確立し、その功績により人間国宝に認定されています。本展では、2025年に生誕130年を迎えた芹沢銈介の作品を、館蔵品の中から厳選して紹介します。88歳でこの世を去るまで、制作を続けた芹沢の作品は、今多くの人に愛されています。本展では、代名詞である染色作品に加え、ガラス絵、絵本、装幀など幅広い作品を通して、芹沢の生き方そのものと言える仕事への姿勢を感じてください。

筆と言葉 杉本健吉と本多静雄の交流

豊田市名誉市民であり、実業家として活躍する一方、日本有数の古陶磁研究家としても知られる本多静雄(1898-1999)と、名古屋市出身の画家・杉本健吉（1905-2004）。本展では、杉本の絵画作品をはじめ、本多が主催した茶会や創作狂言に関連する作品など、二人の深い交流と文化活動に焦点をあてて紹介します。

「生きることは描くこと」と語った杉本健吉。ふたりは愛知県立工業学校（現・県立愛知総合工科高校）の同窓であり、8歳年下の杉本は、本多との交流を通じて多くの作品を生み出しました。一方、本多は杉本美術館（2021年閉館）の開館に際し、初代館長を務めるなど、生涯にわたり杉本との親交を深めました。

本多は101歳、杉本は99歳でこの世を去りましたが、晩年ふたりは関心や好奇心の赴くままに、互いの創作意欲を刺激し合う特別な関係がありました。本展では、杉本健吉の代表作となる「新平家物語」や「聖徳太子絵伝」をはじめ、ふたりの人生が交差することで育まれてきた作品の数々を紹介します。

展示点数

芹沢銈介の仕事 約80点 ／ 筆と言葉 杉本健吉と本多静雄の交流 約80点

関連企画

記念講演会「杉本健吉と本多静雄の交流」

日時：2月22日[日] 午後2時－3時30分

講師：木本文平氏（碧南市藤井達吉現代美術館館長）

会場：豊田市民芸館（第3民芸館）

お話し＆ワークショップ[＊]

日時：4月19日[日] 午後1時－4時

講師：山内武志氏（アトリエぬいや）

会場：豊田市民芸館（第3民芸館ほか）

①お話し「染色家山内武志が語る芹沢銈介」

②合羽摺りワークショップ[＊]

ギャラリートーク（学芸員による展示解説）

日時：2月28日[土]、3月21日[土] いずれも午後2時から1時間程度

会場：第1民芸館集合

聴講：無料（要当日観覧券提示）

※各企画詳細は当館ウェブサイトをご確認ください。

お問合せ

豊田市民芸館

〒470-0331 愛知県豊田市平戸橋町波岩86-100

URL：<https://www.mingeikan.toyota.aichi.jp/>

e-mail：mingei@city.toyota.aichi.jp

Tel：0565-45-4158

Fax：0565-47-4007

・展覧会に関すること 学芸担当：梅村

・掲載、広報画像のご依頼 庶務担当：佐敷

「ふたつのコレクション展 芹沢銈介の仕事／筆と言葉 杉本健吉と本多静雄の交流」広報用画像について

画像資料をご希望の方は以下を記入のうえ、Faxまたはe-mailでお送りください。

Fax: 0565-47-4007 e-mail: mingei@city.toyota.aichi.jp

お名前

ご所属

_____ 様

Tel

Fax

_____ 揭載紙／メディア名

_____ 必要な画像の番号

_____ 必要な鑑賞券枚数（最大5組10名分）*

_____ 発売、放送予定日（雑誌の場合は○月号）

枚

_____ 鑑賞券の送付先*

〒

* 読者プレゼントのため等、希望する場合のみご記入ください。



1. 芹沢銈介『ばんどり図四曲屏風』1957年 166.4×243.4cm
2. 芹沢銈介『ねじり文暖簾』1971年 121.0×84.5cm
3. 芹沢銈介『窯出し文暖簾』1949年 115.7×110.5cm
4. 芹沢銈介『いろは文字絵六曲屏風』1958年 本紙139.7×30.2cm
5. 杉本健吉:画 本多静雄:書『明治開化屏風』(左隻) 1987年 178.0×366.6cm
6. 杉本健吉『三国山 青衣乃神人』1989年 本紙29.0×46.8cm
7. 杉本健吉『幻の壺』1969年 本紙23.0×32.5cm
8. 杉本健吉『鏡板 老松』1977年 211.0×528.0cm ※5月23日[土]本多記念民芸の森にて展示予定

画像の使用には以下の点にご注意ください。

- ・作品写真の文字のせはご遠慮いただき、キャプションを表記してください。
- ・ご紹介いただく場合は、情報確認のためお手数ですがゲラ刷り等をお送りください。
- ・情報掲載後、情報公開後の報告をお願いします。
- ・本展の紹介でのご使用後は、各メディアの責任のもと画像データを削除破棄してください。

豊田市民芸館使用欄

画像提供の依頼日

年 月 日

画像送付

校正

修正

配信・配本